

## 第 8 部 自由記述意見

---



## 第8部 自由記述意見

### 1. 就学前児童及び小学校1～4年生保護者の声

項目	就学前児童及び小学校1～4年生保護者の声 539名の方の意見から抽出
産前・産後時期の支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不妊治療への助成を希望する。</li> <li>・産前・産後の母親への支援を充実してほしい。</li> <li>・子どもの発達や成長に関して気軽に相談、助言をもらえるような人や相談先の確保</li> <li>・安心して利用できる小児医療体制の充実を望む。</li> <li>・妊娠・出産にかかる費用の負担軽減</li> </ul>
子育て環境について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話に傾聴してくれて、共感してもらえる人がいるといい。</li> <li>・どこに相談すべきかを的確に教え、行動をとるためのサポートをしてもらえる人、場所があるといい。</li> <li>・医療費助成の年齢拡大</li> <li>・子育てと仕事の両立支援の環境醸成</li> <li>・父親が育児に関われることが出来るよう父親学級等を開催</li> <li>・母子保健、子育て支援情報をわかりやすく得られるような取組、ホームページの充実</li> <li>・同月齢の保護者が集まり交流する機会（6か月以降）を増やしてほしい。</li> <li>・小学校入学後の子どもを対象にした支援が少ない。</li> <li>・障がい児へのサービスをさらに拡充してほしい。</li> <li>・外国人も子育て支援しやすい環境になって欲しい。</li> <li>・多胎児家庭が住みやすい環境になってほしい。</li> <li>・子どもの人数に応じて優遇されるような経済的支援（保育料など）</li> <li>・地域ぐるみで子育て出来る様なきっかけがほしい。</li> </ul>
教育・保育について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園3年保育の拡大、全園実施（特に新町地域への要望が多い）</li> <li>・幼稚園預かり保育の拡大、全園実施</li> <li>・預かり保育、3年保育の双方未実施園での実現</li> <li>・認定こども園の設置</li> <li>・子どもが多い家庭（兄弟が卒園）の場合の負担軽減</li> <li>・保育料の値下げ、認証保育所利用者への補助金額増額</li> <li>・保育園の受け入れの増、待機児童をなくしてほしい。</li> <li>・公設公営、公設民営間において保育の質が異なるため平等な環境にしてほしい。</li> </ul>
不定期・緊急時に利用する施設について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易手続き、理由を問わない子どもの預け先の開設</li> <li>・緊急時に子どもを預けることのできる保育施設の開設</li> <li>・子育てのリフレッシュを図るための保育施設</li> <li>・一時保育の利用のしやすさを向上させてほしい。</li> <li>・時間外保育の時間延長（職場からの帰宅時間との兼ね合いで）</li> <li>・病後児保育の拡大、病児保育施設の設置</li> </ul>
就学後の支援（放課後支援など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童育成クラブ受け入れ学年の6年生まで引き上げ</li> <li>・長期休暇中のみ小6まで児童育成クラブを利用したい。</li> <li>・児童育成クラブの朝開始時間の繰り上げ</li> </ul>

項目	就学前児童及び小学校1～4年生保護者の声 539名の方の意見から抽出
就学後の支援 (放課後支援など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後異年齢児交流促進事業の拡充、全校実施</li> <li>・元町地域の児童センター（館）整備</li> <li>・就学児の病児保育施設の設置</li> <li>・下校後、子どもが安心して遊べる場所があるといい。</li> </ul>
学校教育について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校におけるいじめ問題の解決</li> <li>・公立中学校、高校の学力の向上</li> <li>・小中学校教育の質の向上</li> <li>・小学校の部活動の充実</li> </ul>
子どもの遊びのための施設について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当代島、北栄地区に大きな公園がないため整備を望む。</li> <li>・堀江、富士見地区に公園の整備を望む。</li> <li>・公園に魅力ある遊具を整備してほしい。公園の管理を小まめに行ってほしい。</li> <li>・子どもたちが安心してボール遊びができる公園がない。</li> <li>・子どもがルールを気にせず、思い切り遊ぶことのできる公園の整備を望む。</li> <li>・元町と新町の公園や広場の整備状況を偏りがないようにしてほしい。</li> </ul>
防犯・交通安全について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯パトロールの強化</li> <li>・夜道の暗い箇所への街灯整備</li> <li>・段差のない歩道、狭い歩道の拡張などの整備 (特に元町地域【当代島・猫実・堀江】が多い。)</li> <li>・自転車マナーの教室などをさらに行い、悪質な運転者に対して教育をしてほしい。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の各施設の対策をきちんと準備してほしい。</li> </ul>

## 2. 市民及び妊婦の意見

項目	市民（18歳～65歳）及び妊婦の意見 251名の方の意見から抽出
産前・産後時期の支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不妊治療への助成を希望する。</li> <li>・妊娠中の母親学級で産後すぐの赤ちゃんとの生活やかかわり方などを教えてほしい。</li> <li>・出産準備に関わる休暇や産休を取得することに対して、理解してもらいたい。</li> </ul>
子育て環境について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の希望やライフプラン（仕事や家族構成など）によって、利用できるサービスを提示してほしい。</li> <li>・働くママの子育てを応援する市になってほしい。</li> <li>・子育て情報をメルマガなどにより配信してほしい。</li> <li>・ホームページを見やすく、分かりやすくしてもらいたい。</li> <li>・仕事と子育ての両立が出来る環境を整えてほしい。</li> <li>・ひとり親家庭への経済的支援</li> <li>・多胎児の保護者への支援を強化してほしい。</li> <li>・父子家庭への経済的な支援</li> <li>・子どもを多く持つことで恩恵を受けるという気運がないと出生率は上がらない。</li> <li>・地域のつながりが少し弱い気がする。</li> <li>・高齢者の方と関わる場を大切にすべき。</li> </ul>

項目	市民（18歳～65歳）及び妊婦の意見 251名の方の意見から抽出
教育・保育について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園3年保育の拡大、全園実施（特に新町地域への要望が多い）</li> <li>・幼稚園預かり保育の拡大、全園実施</li> <li>・公設公営、公設民営間において保育の質が異なるため平等な環境にしてほしい。</li> <li>・認証保育所利用者への補助金額の増額</li> <li>・保育園の受け入れの増、待機児童をなくしてほしい。</li> <li>・教育に熱心な方が多く、追いついていけない。</li> </ul>
不定期・緊急時に利用する施設について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時に子どもを預けることのできる保育施設の開設</li> <li>・子育てのリフレッシュを図るための保育施設</li> <li>・時間外保育の時間延長</li> <li>・病後児保育の拡大、病児保育施設の設置</li> </ul>
就学後の支援（放課後支援など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童育成クラブの内容の充実（オプションでお金かかっても良いとの意見）</li> <li>・中学生の居場所がないように感じる。</li> <li>・公民館の充実（雨天でも遊べる環境づくり）</li> </ul>
学校教育について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校におけるいじめ問題の解決</li> <li>・自転車マナーの教室をもっと行ってほしい。</li> <li>・公立中学校、高校の学力の向上、教育の質の向上</li> </ul>
子どもの遊びのための施設について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが想像力をふくらませて遊べる空間作りが必要</li> <li>・子どもたちが歩いて行ける範囲に大きな公園があれば良い。</li> <li>・元町と新町の公園や広場の整備状況を偏りがないようにしてほしい。</li> <li>・公園の管理を小まめに行ってほしい（除草など）。</li> <li>・子どもがルールを気にせず、思い切り遊ぶことのできる公園の整備を望む。</li> </ul>
防犯・交通安全について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯パトロールの強化</li> <li>・夜道の暗い箇所への街灯整備</li> <li>・段差のない歩道、狭い歩道の拡張などの整備</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親育てが必要、マナーなどが欠如している。</li> <li>・子どもを持つ親・家庭を対象に、しつけ・指導講座や一般常識を教えるような施策を実施していくべき。</li> <li>・高齢者に勉強を、安い料金で教えて頂ける場所</li> <li>・子どもの為の支援ではなく、親重視の支援になっているような気がする。</li> </ul>

### 3. 小学5～6年生本人の希望や意見

	No.	自由意見
生活環境について	1	車線規制をとまなう工事が続いているため、道が混んでしまい塾に遅れてしまうので、早く工事を終わらせてほしい。新町のような、設備の充実した公民館にしてほしい。プラネタリウムをつくってほしい。
	2	近所に、スポーツなどができる広場がほしい。
	3	もう少し、みんなで遊べる場所を作って欲しい。 体が不自由な人のための信号をもう少し増やした方がいいと思う。
	4	まわりに運動場を使ってほしい。

No.	自由意見
5	ストリートバスケットコートをつくってほしい。
6	新浦安だけでなく、元町にも大きな施設（公園など）を造って欲しい。
7	まわりに、釣り堀を作って欲しい。 川を作って欲しい。
8	きれいな川や海、木々などを作ってほしい。
9	近くに野球やサッカー等、スポーツが自由にできるすごく広い公園がほしい。
10	家の前の通りが夜になるとうるさいので、少しでも解消して欲しい。
11	災害の時に安心できるようにしてほしい。
12	夜暗くてこわい。道がでこぼこしていてこわい。
13	校舎をきれいにしてほしい。
14	小学校の体育館の2階の窓から雨漏りしているから直してほしい。2階のゆかが雨水でたぶんくさっている。ぎしぎしいう。（体育館）体育館の渡り廊下も雨漏りしている。砂がたくさん入ってくる。
15	校庭を広くして欲しい。
16	サッカーができる施設がほしい。校庭を広くして欲しい。校庭を芝生にして欲しい。
17	警備員を増やして、安全にしてほしい。
18	吹奏楽部の楽器が古いから新しくしてほしい。楽器の種類をもっと増やして欲しい。
19	もっとプレゼンテーションに強い人の育成に力を入れて欲しい。
20	6時間授業をもっと少なくして欲しい。
21	学校内をもう少しいじめをなくしていく。
22	教科書を使う授業でなくアイパットを使う授業をしてみたい。学校が始まる時間を遅くしてほしい。宿題を一週間にこれだけやすというふうにしたい。ゆとり教育を続けたい。（授業を短く）テストで何点以上は4時間くらいやったら帰って良いという制度がほしい。
23	これからの外国との交流のためにも英語教育に力をいれてほしい。
24	勉強がわからない時によく説明してほしい。英語の授業をもっとアドバンスにしてほしい。
25	給食の味が悪くてとても食べられそうにないので、味を整えて欲しい。
26	給食の牛乳のビンではなく、パックにすればいいと思う。
27	できるだけ勉強の時間を少なくして欲しい。
28	放課後に学校で、将来に向けて学習できるような時間がほしい。
29	学校で不登校の人がいなくなってほしい。
30	休み時間を長くして欲しい。部活の練習時間を増やす。（放課後）
31	友達とふれあう時間をもっとほしい。
32	小学校と中学校の交流をもっと増やして欲しい。
33	雪が降ったら遊んじゃダメでなく、自由に遊びたい
34	もう少し、一体クラスで何が起きているのか、担任は把握するべき。弱い立場の人間を利用して優しいフリするのをやめたほうが良いかと。
35	先生が女子や男子を差別している。
36	好きな人とペアを組んでくださいというのは、いない人がかわいそうだからやめてほしい。
37	先生が人を差別しないでほしい。
38	先生の一視同仁を求めます。

	No.	自由意見
学校 について	39	学校で何か問題があった時、両方の立場の意見を聞いて欲しい。辛いと思うのは、被害者だけじゃないので、被害者は必ずしも善良、加害者は邪悪というわけではない。
	40	先生が何もかもしきらないでほしい。
	41	学校全体でけんかやいじめがなくなるように先生達で注意して欲しい。 先生たちが生徒に手出しをするのをやめてほしい。
	42	人と比べないでほしい。勝手に自分のことを決めないで欲しい。
	43	成績が気に入るなどの理由でひいきしないでほしい。明るい先生がいい。
	44	あまりほめることが少ないと思う。(学校の先生)
	45	みんな仲のよいクラスの学校にしてほしい。
	46	6才よりも下の子も小学校に入ってきてほしい。
	47	ほかの学年とふれあう時間がほしい。(授業をふやされてもこまるが。)
	48	学校に自習室(勉強するところ)があるといい。
	49	シャープペンやボールペン、蛍光ペンが使えるように決めて欲しい。
	50	苦手科目をもう少し詳しく教えて欲しい。
	51	学校で塾の話を出して欲しくない。
その他	52	こういうアンケートがあるのはすごくいいと思った。
	53	このままで十分です。
	54	いまのままでいい。
	55	学校のことは、特にありません。ふだんの生活は悪い人がいなくなってほしい。
	56	生活のことで母におこられる自分も悪いけど、怒った母はほぼ毎日怒っていて自分のことがきらいなのかなと思う。





## 第9部 グループヒアリング

---



# 第9部 グループヒアリング

## 1. 浦安保育フォーラム

### (1) 活動等概要

- ・浦安保育フォーラム（以下、フォーラム）は、千葉県浦安市の公設公営保育園の父母会による連絡会である。本団体は1985年に各父母会による連絡会として発足し、以後、約30年に亘って活動を継続している。
- ・浦安市内の全ての公設公営保育園（当代島、猫実、入船、富岡、東野、日の出、高洲）には父母会が組織されており、ほとんどの保護者（約1,000世帯）が会員となっている。各父母会では、クラス単位での懇談会、ならびに役員・委員による会議が行われ、子どもたちの成長や安全のため、そして親同士の交流のために話し合いがなされている。また、浦安市や保育園の協力により、各父母会の保護者が主体となった様々なイベント等が開催されている。
- ・フォーラムでは、年に5～6回の頻度で各父母会の会長や副会長等が一堂に会し、保育園の話題や父母会のイベント、子育てのアイデア等について情報や意見を交換し、交流を深めている。また、フォーラムは保護者から寄せられた感謝や要望、提案などを浦安市に伝え、行政と双方向で話し合う役割を担っている。加えて、保育士との定期的な交流を介して保育について学び、子育てについての助言を受けている。フォーラムは、父母会のボランティアによって運営される独自のウェブサイトを有しており、その活動内容の詳細や浦安市の保育行政等を全国に発信している。
- ・フォーラムは自発的な組織であり、ウェブサイトの維持費ならびに会議中の一時保育等を含む全ての活動費は、保護者による父母会費の一部によって支えられている。また、千葉県内の保育団体には所属せず、全国の保育運動にも同調せず、「保護者が自ら学び、考え、進む」ことを心がけて活動を続けている。さらに、フォーラムは浦安市ならびに保育園を「子育てのパートナー」として尊敬し、建設的に話し合う姿勢を重視している。



### (2) ヒアリング

- 開催概要 : 平成26年1月26日(日) 10:00～12:00 美浜公民館  
団体概要 : 浦安保育フォーラム (浦安市公設公営保育園父母会の連絡会)  
参加者 : 10名  
ヒアリング : 調査委託業者 ランドブレイン株式会社 (2名)

## ①浦安市の子育ての環境や支援への満足度について

- ・浦安市の子育ての環境や支援について、総じて満足している。ただし、これらは単純な数値で表現できるものではなく、自分たちの満足度が、浦安市全体の保育園児の保護者の満足度を反映しているとは言えない点について留意して頂きたい。
- ・満足度という大まかな定義ではなく、ポイントを明確にして議論した方が適切と感じる。時間の都合上、このヒアリングでの個別のコメントは省略するが、平成 25 年度のフォーラムは、浦安市の子育ての環境や支援に関する意見をまとめ、文書としてすでに市長に提出し、フォーラムのウェブサイトにおいて公開している。この中には感謝や要望、提案、質問等の 100 件程度のコメントが記載されている。子ども・子育て会議における別添資料としての提出を希望する。
- ・フォーラムによって毎年度実施されている公設公営保育園での保護者アンケートの結果を鑑みた場合、一部について改善点を認める者を含めると大多数の保護者が現状の保育に「満足している」と回答している。
- ・保育は子育てにおける重要な部分であるため、満足度の指標として用いることができるかもしれない。しかし、その他の子育ての環境や支援については、各世帯、各個人によって意見が異なる。例えば、第一子が認可保育園に入園できたが、第二子の受け入れを拒まれた世帯にとっては、浦安市の子育て環境が、必ずしも満足度が高いとは言えない。
- ・保育施設が充実すれば、潜在的ニーズによってさらに入園希望世帯が増加する。また、子育て世代が流入する可能性もある。待機児童を完全に解消することは困難であるが、保育施設が整っていないという状態では、満足度が高くなるはずがない。難題だとは思いますが、今後も引き続き、可能な限りの対応を希望する。
- ・フォーラムは、浦安市および他の基礎自治体における子育ての環境や支援を比較している。その過程を通じて浦安市における積極的な取り組みを実感し、高く評価している。
- ・保護者にとって、浦安市と他の自治体との子育て環境の比較は容易ではない。他の自治体から浦安市に転居した保護者にとっては、その相違を察する機会があるかもしれないが、浦安市内だけで生活している保護者にとっては、自らが生活している自治体だけの価値判断に大きく影響されるため、子育て環境の優劣を認識できていない可能性がある。
- ・保育料については、フォーラムの有志によって全国や千葉県内の自治体と浦安市とを比較したが、金額を抑えるための努力が続けられていることを実感した。ただし、多くの保護者はそのことを認識していない。本当の意味での保護者の満足度を把握するためには、市民に対して、浦安市の取り組みをより積極的にアピールする必要がある。現状を認識せずに評価を行った場合、満足度が低くなってしまわないだろうか。
- ・現行の浦安市内の病後児保育では、受け入れ人数に制約があり、感染症が流行する時期にはキャンセル待ちを余儀なくされるケースがある。市としても病後児保育施設を拡充する方向にあることに感謝している。
- ・病児については基本的に親が見るべきという考えも否定はしないが、契約社員や派遣社員、人命に関わる職種、ひとり親世帯など、家族の生活のためには仕事を欠勤できない状況があることだけは理解してほしい。
- ・駐車場が用意されていない保育園では、慢性的に保護者が自家用車にて子どもを送迎し、違法駐車によって交通に支障を生じているケースが認められる。保育園が不足している現状では、自宅から離れた保育園を利用せざるをえないことがある。子育ての環境において、保育園児の送迎は大きな負荷がかかる点であり、駐車場の確保や送迎の支援を強く求める。

## ②浦安市の子育て支援を充実させていくために必要なこと

- ・前述の通り、フォーラムは、平成 25 年に浦安市長宛に子育て支援に関する提案や要望等を含め、100 種類程度のコメントを文書として提出し、オンラインで公開している。この意見書には、浦安市の子育て支援を充実するための多くのヒントを包含している。是非、子ども・子育て会議の資料として検討して頂きたい。
- ・幼稚園の PTA と比較した場合、父母会活動は保育園と独立して運営されている。保育園とのより良い交流のために、さらなる理解と支援を希望する。
- ・自分の世帯では、第二子の認可保育所への受け入れを拒まれたため、認証保育所を利用している。浦安市の認可外保育所の多くは非常に優れた保育を実施しており、「認可保育園に入れなかった子ども＝かわいそうな子ども」という図式をあまり感じられない。認可保育園の受け入れ態勢を充実させることと併行して、浦安市が今後も認可外保育所へのサポートをより充実させることを希望する。
- ・認可外保育所については、施設整備だけでなく安全面の配慮をお願いしたい。ほとんどの認可外保育所では、園庭が設置されておらず、子どもを遊ばせる場所として公園を利用している。通行量の多い道路を、職員が子どもをカートに入れて移動している現状を、浦安市はきちんと認識しているのか疑問に感じる。認可、認可外を問わず、保育士や子どもの移動については、交通安全対策として誘導員等による補助を希望する。
- ・浦安市内には土曜日に勤務している保護者が多い。土曜日については平日同様の保育時間を希望する。
- ・子ども・子育て支援新制度については、多数の保護者が全体像やその詳細を把握できていない。その実施に際して、保護者が不安に感じることがないように、適切な広報およびタウンミーティング等における周知、可能な限り保護者の意見を取り入れる姿勢を希望する。
- ・各々の自治体における子育ての環境の相違について保護者が知る機会は少ないが、良い評判、悪い評判については様々な媒体やコミュニケーションによって拡散する。実際、「浦安市が子育てに適した街だ」という評判を耳にして、他の自治体から転居する保護者がいる。反面、浦安市に住んでいると、どうしても近隣の自治体の現状が気になる。特に、江戸川区は、浦安市と同様に子育て支援が充実しているという話を耳にし、比較されることが多い。浦安市も江戸川区も、日本の子育て環境をより良くするため切磋琢磨して頂きたい。
- ・子ども・子育て支援新制度に関連して新しい施策を行う際には、当然ながら変化に対して戸惑いや反発が予想される。その状況であっても、浦安市は、説明できるところは説明し、対応できるところは対応して、前に進んでほしい。
- ・浦安市が市民の要望をかなえても、それがゴールではないのが気の毒に感じる。つまり、浦安市は、数々の市民の要望に応えてきたが、実現に至るまでのプロセスや他の自治体の情報を知らない保護者にとっては、単なるゼロ地点でしかない。そこから、さらに次の要望が出てくる。行政サービスそのものを伝えるだけでなく、それを実現させるために、浦安市が今までにどのような取り組みをしてきたかをアピールしてほしい。自分たち保護者は、市民として行政サービスを受けられて当然という考えをもつのではなく、現状に感謝する気持ちを忘れてはいけないと思う。

## ③子ども・子育て支援事業計画の基礎調査（アンケート調査）の結果について感じる事

- ・フォーラムは、保護者自らが内閣府の新制度や浦安市における関連事業について把握している。また、平成 25 年の保育幼稚園課との意見交換会において、すでに新制度についての説明を頂いている。このインタビューにおいて新制度とは何かについて詳しくご説明頂く必要はない。
- ・今回の浦安市の基礎調査の結果は、自分達の子育て経験との間に大きな乖離は認められず、妥当な範囲のデータであると感じる。ただし、感じ方は人それぞれであるため、確実に一致しているかどうかは分からない。市民が納得できる形で、それをはっきりさせるためには全世帯の調査を実施する必要

があるが、おそらくコスト面で実施は困難であると認識している。

- ・今回のグループインタビューは、内閣府が掲げる「子ども・子育て支援新制度」の事業計画策定に関するヒアリングと認識している。また、内閣府の新制度における主たる対象は、未就学児童である。しかし、ここで提示された浦安市のアンケート結果のデータを見る限り、未就学児童に焦点を当てているというよりは、小学生についての内容が多いと感じる。どうしてこのようなデータのまとめ方になったのかを市民に対して説明する必要がある。
- ・内閣府の子ども・子育て支援新制度では、「地域子ども・子育て支援事業」が含まれており、病児・病後児保育や保育時間の延長など、13項目の多岐にわたる細かな事業が打ち出されている。「地域子ども・子育て支援事業」は、各自治体のニーズに合わせて実施され、しかも、未就学児童やその保護者の生活に直結する内容である。ところが、今回の基礎調査結果の資料を見る限り、これらの事業とデータとの関連性が明示されていない。このまとめ方では、浦安市が、新制度とは異なるニーズを集め、国の方針に反した施策を行うのではないかと不安になる。今回の基礎調査において、地域子ども・子育て支援事業についてのニーズをすでに集めているのであれば、この資料の中に追加し、どの事業とどのデータが対応しているかを示すこと、また実際の検討課題として適切に対処することを希望する。
- ・浦安市の子ども・子育て会議での議事録だけを見ると、浦安市は内閣府の方針と方向性が異なっていると感じた。しかし、浦安市の場合には、これまでも厚労省や文科省の方針を鑑みて各事業計画を積極的に推進している。それらの事業が内閣府の新制度において継続されたとしても、すでに対応できている状態、もしくは最初から立ち上げる必要がないくらいの段階に達しているのではないだろうか。そのため、内閣府の方針よりも高いレベルで、そして未就学児童よりも幅広いスケールで子育てを支援しようとしている印象がある。
- ・そもそも、現段階では内閣府と浦安市の新制度の方向性について議論ができる保護者は少ないと考える。保護者に誤解が生じることで、浦安市が不必要な批判を受けるのは本意ではない。浦安市が、内閣府の新制度をさらに発展させる方針であるのならば、その旨を広く広報し、アピールしてほしい。また、タウンミーティング等を開催し、保護者についても分かりやすく説明してほしい。
- ・基礎調査資料には、所々に赤字等でマークが入れられている。おそらく、市役所内でのプレゼンテーションにおいて使用されたものであると考えている。グラフ内に表示されている数値を統計学的に検定してみると、科学的に差がない結果であるにも関わらず、差があるように解釈しているデータがある。反面、差がないと判断されているが、実際には差がありそうなデータが多々ある。必要に応じて多変量解析が必要かもしれない。頑張っデータを集めたのだから、結果の解釈の段階で重要な個所を見逃さずこと、ならびに論点がずれることがないようにしてほしい。ここまで規模が大きいデータの解釈には、統計学の専門家を加える必要があると考える。
- ・グラフの縦軸や横軸のラベルが不十分なもの、グラフ自体の解釈が難しいものが散見される。一般の保護者が楽に理解できるように内容を精査し、修正してほしい。

#### ④市によって提供されている子育て支援サービスに関する情報媒体（広報うらやす、ホームページ、子育てハンドブックなど）について

- ・浦安市が子育て世代のために豊富なサービスを用意し、非常に充実した資料を提供していることに感謝している。
- ・産前産後休業や育児休業の段階では、時間的な余裕がある等の理由から、様々な場所等で情報媒体を閲覧する機会があった。また、コミュニティ参加も容易であった。しかし、保育園に子どもを入園させ、仕事と子育てが本格化してくると、そのような機会や余力がないと実感している。情報があっても、その情報にたどり着けないことがある。保育園児の保護者としては、保育園が市の情報提供のき

っかけになることを希望する。

- ・子育てハンドブックは、浦安市での子育てに関する情報が集められており、非常に充実した内容となっている。特に、緊急時に役立っている。しかし、印刷体で配布されているハンドブックでは、情報の更新がなされても、そのことに気づかずに古いままのハンドブックを使っていることがある。また、その更新情報が市の配布場所まで行かないと分からないと感ずることがある。紙媒体については、情報のアップデートに対応するための対策を講じて頂きたい。
- ・浦安市の公式サイト全体にも該当することだが、現在では、スマートフォンを主たる情報端末として使用している子育て世代が多い。子どもの世話をしながらパソコンを立ち上げている余裕がなく、通勤中や空き時間にて携帯端末で情報を閲覧することが多い。パーソナルコンピューターでの表示に加えて、スマートフォンでの表示に切り替えられる機能を追加した方が情報を探しやすい。
- ・浦安市の公式サイトは内容が充実し、更新も迅速であるが、PDF形式の資料が多く、閲覧や検索が非常に面倒である。時に、閲覧すら諦めてしまうことがある。子育てハンドブック等のオンライン資料は、浦安市のウェブページにPDFとして分割して掲載されているが、一つひとつの書類を調べる余裕はない。また、必要な情報を検索してすぐにヒットさせることも難しい。子ども・子育て会議の資料についても言えることだが、子育てハンドブックについては、全てをHTML化することでウェブページとして表示し、速やかに検索できるようにしてもらわないと、インターネットの利点が損なわれる。この点については適切に対処して頂きたい。
- ・子育てハンドブックは、市内の多くの場所で配布されているが、転入等のタイミングによってはハンドブックを受け取ったことのない保護者がいる。その存在をより広く周知し、紙媒体が必要な世帯については、可能な限り全ての保護者に配布されるよう、今後も継続して努力して頂きたい。
- ・インターネットを介した子育て支援サービスの情報の周知は有用だが、インターネットリテラシーには最大限の配慮を願いたい。インターネットを使用せずに生活している世帯は少なくない。ネットがないとサービスを受けられないというのでは本末転倒である。それらの世帯に情報を伝えるための情報のハブがどこにあるのか、保育園なのか、公民館なのか、世帯訪問なのかについて詳細に検討し、ハブを増やし、情報を伝えてほしい。また、市が遠慮することなく、フォーラムや父母会を情報のハブとして使ってもらっても構わない。積極的にサポートしたいと考えている。
- ・認可保育園や認証保育園等の空き状況や希望者数については、横浜市のようにインターネット上において、リアルタイムで表示されるシステムの構築を願う。現時点では定員の空きを知ることができず、更新が遅い時が多々ある。空きがあると思って申請したら、実は希望者が複数おり、入園できなかったケースがある。そのような場合には世帯の生活プランに影響が出る。
- ・子育て支援等に関する市民への情報の発信においては、浦安市の公式サイトだけでなく、コミュニティサイトやNPOなどのウェブサイトによって並列的に発信することが有用ではないだろうか。子育て世代は、何かの必要に迫られた場合に浦安市の公式サイトを閲覧することがあるが、頻繁にチェックすることは少ないと感ずる。また、フェイスブックやツイッターを利用していない世帯は多い。子育て世代が定期的に閲覧するウェブページに、市の情報のリンクを張った方が、情報の拡散効率が高いのではないだろうか。もちろん、フォーラムも浦安市の情報発信を支援したい。

#### ⑤子育てケアプランについて

- ・初めて耳にしたが、素晴らしいサービスだと思う。
- ・いくら浦安市が公式サイトで広報し、資料を配布しても、情報が届かない世帯は必ず出てくる。また、情報が手に入っても有効に活用できるかどうかは分からない。その点では、何かを尋ねたらすぐに答えてくれるというシステムは需要が高いと考える。
- ・市内の特定の施設に行ってサービスを受けるシステムの方が、運営自体は効率的ではある。しかし、

- 訪問型のサービスがあれば、子育て世帯を孤立させないという観点から有益ではないだろうか。自分から情報にアクセスしようとする世帯については、子育てケアマネジャーが実際に自宅に来てくれば、親が閉じこもって、育児において精神的に追い詰められてしまうリスクを低減できると思う。
- ・課題としては、子育てケアというサービス自体があることをどのように効率よく周知していくかという点だと考える。限られた情報媒体において紹介され、市役所や特定の施設に行かないとサービスを受けられないのであれば、その存在を認識しないまま子育ての時期が終わる可能性も否定できない。
  - ・例えば、妊娠時の届出や産婦人科クリニック、出生届、検診、予防接種等の「妊娠から出産、育児において、必ず通過すると思われるポイント」に注目し、市民に子育てケアプランを紹介してほしい。
  - ・他の自治体で子どもを出産し、浦安市に転居してきた世帯については、転入時等のタイミングで、サービスの存在を的確に伝えてほしい。

※平成 26 年度より開始を予定している事業。利用者支援の一環として行う。妊娠届提出時から子育てケアマネジャー、保健師との相談を通じて、各年齢や家庭状況に応じた子育てプランを作成するもの。

## 2. 浦安地区公立幼稚園 PTA 連絡協議会

### (1) 活動等概要

- ・会員相互の親睦と幼稚園教育の発展に寄与する目的で、浦安地区公立幼稚園 PTA を組織し、事務局を会長幼稚園に置き、千葉県公立幼稚園 PTA 連絡協議会との連絡を図っている。
- ・研修会、講演会等の開催、幼児の幸福のために活動する諸団体と連絡を図っている。

### (2) ヒアリング

開催概要 : 平成 26 年 2 月 6 日 (木) 12:00~12:40 富岡公民館 1・2 会議室

団体概要 : 浦安地区公立幼稚園 PTA 連絡協議会メンバー

参加者 : 4 名

ヒアリング: 調査委託業者 ランドブレイン株式会社 (2 名)

#### ①浦安市の子育ての環境や支援への満足度について

- ・他の自治体と比較すると市の制度は充実している。
- ・他県から引越しをしてきた時は、子育て支援センターがサポートしてくれて助かった。
- ・不安と心配はあるが、不満はない。

(満足度が低い理由)

- ・就学前は様々なサポートが受けられたが、小学校に入ると環境整備などに物足りなさを感じている。
- ・元町地域は公園が少なく、公民館の体育館を使用できる時間も限られている。
- ・市の制度は沢山あるが中身の濃さがないように感じる。新町地域に公園は多くあるが、サッカーが出来るような公園がない。公園が大人の目線で作られており、子どもの目線に立って整備されていない。

#### ②浦安市の子育て支援を充実させていくために必要なこと

- ・児童センターに行くための交通手段がないので、夏休みの期間だけでも小学校を臨時の児童センターにするなど検討をして欲しい。親が働いていると、夏休みの遊び場が必要になるので、既存の施設を利用して市内にある大学の学生を指導員にするなど、上手く活かして欲しい。



- ・小学校のプールも7月しか利用していないので、開放するなどして欲しい。
- ・子どもたちが放課後に過ごす場所として、思いっきり遊ぶことができる場があるとよい。
- ・今の親は、すぐに結果を求める傾向にあるため、大人への啓発が必要である。

### ③子育てされているご経験の中で感じていること

- ・老人会とのふれあいの機会があるが、年齢が離れすぎていていのではないか。大学生程度の年齢の方たちとふれあう機会があると良いと思う。
- ・認定こども園になったら、PTAはいらないのではないか。
- ・浦安市には習い事をしている子どもが多いように感じる。
- ・24時間病院の小児科がなくなってしまった。また、市内に病院が少ないように感じる。
- ・公園で遊んでいる子どもがいないので、親同士の交流の場もなくなり、孤立して悩む親がいるのではないか。
- ・ネグレクトと思われる問題も身近に生じているが、サポートをどのようにしたら良いのか迷っている。
- ・公立幼稚園の宅配弁当サービスは、以前は当日注文が可能であったが、現在は1ヶ月前の注文となっており、サービスの意味がなくなっている。

### ④市によって提供されている子育て支援サービスに関する情報媒体（広報うらやす、ホームページ、子育てハンドブックなど）について

- ・子育てハンドブックは、第1子の時や転居してきた時には便利である。
- ・未就学児の時には子育てハンドブックを見たが、利用したことはなく、内容が分かりにくい。情報はネットやママ友から得ていた。
- ・子育てに関するすべての相談窓口が、一本化されていると良い。
- ・子育て中の親たちは、情報に振り回されているところもあるように感じる。

## 3. お助けねっと・こんぺいとう

### (1) 活動等概要

- ・「浦安市子育て・家族支援者養成講座で学んだことを活かし、個々のスタッフが得意とする分野を提供し地域の子育て、家族を支援していくこと」を活動の目的としている。
- ・浦安市の「子育て・家族支援者養成講座」の1期生18人によって平成20年1月に「2級お助けねっと」として会をつくり、平成22年4月「お助けねっと・こんぺいとう」と改名し、現在の会員数、6期生まで35名になっている。
- ・「こんぺいとうひろば」を月1回中央公民館と当代島公民館にて開催し子育ての仲間づくりとくつろぎの場の提供をしている。前半は参加された親子さん同士のコミュニケーションタイムとし、後半は読み聞かせ・季節感のある製作などのほか、スタッフの経験や昔ながらの子育てに関するノウハウなどを話している。
- ・「こんぺいとうサロン」を高洲児童センター・交流のひろばにて月曜日～金曜日開催し、スタッフが親子の遊びを見守りつつ、午前・午後にスタッフの経験や昔ながらの子育てに関するノウハウを話したり、手遊びやわらべ歌を通して伝承遊びを提供している。
- ・対象はいずれも、0歳から未就園児までの子どもと保護者

## (2) ヒアリング

開催概要 : 平成 26 年 2 月 10 日 (月) 14:30~15:30 高洲公民館

参加者概要 : 団体メンバー

参加者 : 5 名

ヒアリング : 調査委託業者 ランドブレイン株式会社 (2 名)

### ①浦安市の子育ての環境や支援への満足度について

- ・若い方が転居して来るという事は、浦安市は子育てしやすいという事だと考える。
- ・本団体の活動を通して見た場合、利用者のリピート率が高いことから満足度を得ていると考える。

### ②浦安市の子育て支援を充実させていくために必要なこと

- ・新町は交流の場が多くあるが、元町には毎日気軽に遊びに行ける場がないので、毎日開催できる場所と人材が必要ではないか。そのためには、講座の 3 級・2 級の修了生も多くいる事から、活用すべきではないか。また、公立幼稚園の定員割れが生じているようなので、空き教室の提供なども検討して欲しい。
- ・市内には自然が少なく、公園などの遊び場が少ない。外遊びによってけがをすることも本人の成長に役立つ。難しいとは思いますが、子どもが解放される環境づくりが必要ではないか。
- ・児童センターが 2ヶ所しかなく、異年齢交流促進事業もまだ一部であることから、親の就労如何に関わらず放課後に遊べる場所を作ってほしい。

### ③活動のなかで感じていること

- ・親子にとって好きな時間に好きな場所に行って、好きな時間に帰るという居場所が、新町にはあり、元町にはなかったので、本団体はその場をつくった。
- ・元町居住者は転勤が多く、母子手帳配布率も高いと聞いている。
- ・本団体では専門的なアドバイスは専門家に任せ、様々な資格を持ったメンバーがそれぞれの経験を話すことで、心配しないでと安心してもらえるのが大きなメリット。
- ・児童センターは 0 歳から 18 歳までが利用できることから、小さい子どもを持つママたちは小学生の動きについていけず、少々怖さを感じる方もいるので、利用時間帯を上手く見つけ活用している。
- ・アンケート調査の結果を見ると、子育ては両親で取り組んでいるという回答が多いようだが、これは休日のことで、利用者の話を聞くと平日はまだ父親の子育てに加わっている率は低いのではないかと。また、アンケートの回答は地域によって異なるのではないかと思う。



## 4. およこの広場・ほこほこ

### (1) 活動等概要

- ・浦安市主催の子育て・家族支援者養成講座修了生が講座で学んだことを地域の中で活かしていきたいと、子育て支援を目的に平成22年3月に立ち上げた市民活動団体。
- ・会員は平成26年1月現在15名。
- ・子育てサロン「およこの広場・ほこほこ」(対象0～3歳までの子どもと保護者)を開催し、育児不安を軽減し、子育て家庭が孤立せず地域で支え合う子育ての実現を目指している。
- ・「子育て学習会」を開催し、親は子育て力アップ、支援者はスキルアップを図っている。

### (2) ヒアリング

開催概要 : 平成26年1月27日(月) 10:30～11:15 入船西エステート自治会集会所

参加者概要 : 団体メンバー

参加者 : 10名(2名は子育て中)

ヒアリング : 調査委託業者 ランドブレイン株式会社(2名)

#### ①浦安市の子育ての環境や支援への満足度について

- ・会員に満足度を聞いたところ、「やや満足度が高い」(5段階中4)であった。  
その主な理由としては、次の通りである。
- ・子育て支援センターや児童センター、社会福祉協議会の子育てサロン、個人ボランティアによる子育てサロンなど、多様で充実した支援が行われている。ほのぼののタイムについても、所管課が変更されたが継続して行われており、育児不安の軽減に寄与している。
- ・親のニーズや子どもの発達に合わせて様々な支援を選択できる。
- ・浦安市主催の子育て・家族支援者養成講座が毎年継続して実施され、この講座を受講した方などによる子育て支援者が着実に育ってきている。

(満足度が低い理由)

- ・待機児童がゼロになっていない。
- ・保育園は4月入園にする方が入園させやすいため、育児休業を希望する期間取得できないことがある。
- ・一時保育をリフレッシュや緊急時に使いたいと思っても空きがなく、利用できないことがある。
- ・幼稚園の3年保育が少ないため、仕方なく2年保育にしている場合もある。
- ・病後児保育は、ファミリー・サポート・センターでも実施されるようになり、充実してきているが、病児保育がない。
- ・浦安市のホームページによる子育て支援情報の提供は、リンクしていないため、情報が取得しにくい。

#### ②浦安市の子育て支援を充実させていくために必要なこと

- ・保育園の待機児童を減らすための施策を急ぎ、一時保育の受け入れ枠を増やし、幼稚園の3年保育の実施園を増やしていくことが特に必要である。
- ・子育てサロンに参加する人は子育て支援者や他の母親たちと関わりが持てるが、参加しない人が問題を抱え込んでしまうのではないかと懸念がある。参加しない人にも何らかのアプローチが必要。
- ・小学生の放課後の居場所がない。児童育成クラブを利用している児童はよいが、利用していない児童にも安心できる居場所が必要である。
- ・3歳児くらいになると、元気に走り回ったりするので広い遊び場が必要になるが、広い屋内施設が少

ない。雨の日などの居場所として必要と感じる。

- ・第2子出産時の支援を充実してほしい。核家族化が進んでおり、里帰り出産ができないときなど、安心して産めるような支援が必要である。
- ・妊娠中に浦安市に住んでいれば、情報があるが、長い期間市外の実家などに戻っていた場合は、情報が途切れてしまい、家にこもりがちになる。乳児健診のお知らせなどが、家から引き出してもらうきっかけになると思う。
- ・育児で忙しい中でも市のホームページで簡単に子育て情報を入手できるように、一本化してほしい。

### ③子育てされているご経験の中で感じていること

- ・子育て・家族支援者養成講座の3級、2級講座を受講し、子育て支援に関われることはいいことだと思う。これからも市は養成講座を続けてほしい。
- ・団体の会員に男性の方が1人いるが、人気がある。男性のボランティアの方が増えてほしい。
- ・1人の保健師さんが継続してサポートしてくれると安心する。
- ・子育て支援者が増えていくと、子育てにより環境になっていく。
- ・支援を受けた人が支援をする側になるといった、好循環をつくっていきたい。
- ・広報うらやすは新聞を取っていないと自宅には配達されない。今は宅配サービスもあるが、知らない人も多い。予防接種の案内などを市から個別に郵送するときなどに、広報うらやすや公民館の情報誌のルネッサンスを同封していただくと助かる。公民館には子育て中の親向けの保育付講座もあるので、ルネッサンスの講座一覧の情報も嬉しい。
- ・みんなで子育てハンドブックは、情報が豊富で良いが、必要な情報をピンポイントで探すのが大変。
- ・様々な市のアンケートが実施されており、協力したいが、子どもを抱えながらの回答作業は難しいので、保育付のイベントなどで子どもを一時預かって貰っている間に記入できるなど、書く時間が作れる工夫があると良い。



## 5. こども発達センター

### (1) 施設・活動等概要

- ・こども発達センターでは、保育士・臨床心理士・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・看護師・社会福祉士が、お子さんの心身の発達上でのさまざまな悩みや心配事の相談・訓練に応じている。
- ・通園部門は、0歳から未就学までの乳幼児で、心身の発達に心配があるお子さんに、親子で通園（一部「単独通園」）し、集団での遊びや専門職による相談、機能訓練などを通して発達を促している。
- ・外来部門は、0歳から18歳までの心身の発達に心配のあるお子さんの相談を受け、その発達状況に応じ発達情緒を担当する療育相談、言語を担当する言葉の相談、身体・運動を担当する機能訓練に分けて、個別による訓練や相談等を行っている。

### (2) ヒアリング

開催概要：平成26年1月31日（金）10:30～11:15 総合福祉センター内こども発達センター

参加者概要：こども発達センターに通う子どもの保護者

参加者：3名

ヒアリング：ランドブレイン株式会社（2名）

#### ①浦安市の子育ての環境や支援への満足度について

##### A.（お子さんは肢体不自由で障害手帳1種1級）

- ・子どもが自由に体を動かすことができるのならば、市内に連れて行きたい施設はたくさんあるが、利用できない状況のため、市の子育て支援の満足度は「どちらともいえない」である。
- ・子どもが小さい頃は子育て支援（保育園など）を受ける機会があったが、成長するにつれて受けている支援は減ってきている。
- ・こども発達センターを利用している親としては、こども発達センターによる支援は大変有難いと感じている。しかし、通園の回数が来年から1回減り、週2回になってしまうので少し切ない思いでいる。
- ・例えば、こども発達センターに通園できない日数を補うためには、他の施設に通う必要があるが、日々通う場所が異なってしまうため、保護者にとって子育てをする環境が整っていないと感じる。
- ・子どもが肢体不自由であるため、車いすや補装具が必要だが、市内で作ることができない。そのため、今お世話になっている先生のもとではなく、馴染みのない先生のもとで補装具などを作らなければならない。お互いの先生から聞いている意見が相違する事があるので、補装具を適切に作成できるか心配である。
- ・健診などのお知らせが市からあっても、「行きたくない」といった気持ちになってしまうことがあるので、配慮いただきたい。例えば、尿検査を受診したいが、排尿がうまくできない状態では検査が受けられないと考えていた。しかし、市に問い合わせを行ったところ、受診者の事情に応じて色々な方法で受診することができるようなので、通知や案内に一文の注意書きなどを入れるなど情報を提供してくださると大変有難い。また、こども発達センターでも健診についての情報を提供してくれると良い。

B. (2人のお子さんがこども発達センターに通っており、上のお子さんは自閉傾向があり、下のお子さんは多動であるため教育・保育施設には通わせていない。)

- ・市の子育て支援施策に関して不満はない。こども発達センターによる支援は、ありがたいと感じている。現状では、末子について幼稚園や保育園などの教育・保育施設に通園させる考えがない。
- ・療育手帳を持っているため、こども発達センターの裏にある一時ケアセンターをよく利用している。保育園での一時保育では、食事の持ち込みが出来ないが、一時ケアセンターでは持ち込みが許されており、安心して子どもを預けることができる。レスパイト(障がい児や高齢者等を養育する者のリフレッシュを図るための家族支援サービス)は、保護者が子どもの養育を行ううえでは、なくてはならないものであり、一時ケアセンターのような施設があると精神的に大変助かる。
- ・上の子どもが就学するにあたり、子どもを特別支援学級もしくは普通学級に通級させるべきか、その選択に悩んでいる最中だが、教育委員会で実施しているまなびサポート事業を利用し、それぞれの学級について相談をし、助言をいただいている。この支援は子どもが高校生になるまで継続されるため、今後の安心へと繋がっている。

C. (2人のお子さんがおり、下のお子さんが肢体不自由でこども発達センターに通っている。)

- ・末子の保護者という立場からすると浦安市の子育て支援(障がい児支援)には大変満足をしている。現在、こども発達センターに週5日通園することができているため、手厚い支援を受けることができている。
- ・転居をする予定であるが、この機会に際し、他の自治体の障がい児支援について調べてみたところ、浦安市の支援を客観的にみることができ、子育て環境は良いと感じている。障がい児支援は、自治体により大きく異なっており、転居を考えている自治体にはこども発達センターのような施設はないようである。そのため、もし転居をすれば、他の自治体の施設へ通園せざるを得ない。こうした理由で、末子が就学するまで浦安市で子育てをすることにしている。
- ・こども発達センターは、市の他の部署との連携が薄いのではないかと感じており、市の様々な情報をセンターで提供して欲しいと考えている。